

一、總同盟九州出席所長選任一件

一、創立第三十二回執行委員會

日時

昭和二年九月二十日午後七時

場所

七十七号労働組合門司支部事務所

二、議事

六、各組合情勢報告

也大之上前海組合門司支部 製鋼所組合 本部組合 日本瓦斯坑夫組合

日本瓦斯組合

一年次大會開催 一回八件

一年次大會準備委員選任 一回八件

組織部報告

總同盟加盟組合員十萬人突破運動の全國的協力に依つて本聯合會は特別委員會を設置し全九州の戰線にて組織運動の計画的拡大を圖つた。即ち別表加盟組合一覽表(三頁—四頁参照)の如く昭和七年十月未現在止於¹³加盟組合員總數は二千八百八十八名となり、昨年同月と比較して三百三十七名の増加である。

更らに同表増減欄に示される如く、加盟各組合の本年度に於ける組合員獲得数の總和は七百一名となり、舊總アソシヨン轉換した門司印刷工組合の脱落並び相應、田川地方の日本石炭坑夫組合の一部の除名、並びに死物狂の没落等本來ある組合破壊と暴虐、組合員大眾の失業等の依つて、聯合會の計画的組織運動の一端は崩壊し、頻繁なる爭議、衆議院議員總選舉、小倉、飯塚の兩市會議員總改選等を本聯合會の中心勢力地帶に於ける政治闘争、甚しき刻々の激化、此等労働階級の生活不安に伴う組合の日常鬪争に忙殺されて第期の組織成績は専ら以此を以つた。

素より、労働組合の組織運動は組合自体の内容整備、充実を無視しては頗る、その成果は望み難い。而水手は一益に、組合經營を一層、合理化し、組合員相互間の完全なる援助、共済施設の發展を図り、聯合會の組織運動を正當な基礎とする上に置いて、長期の組合員獲得率では二、三十萬人突破運動を續行するものであつた。

教育部報告